

地域と
寿泉堂を結ぶ
コミュニケーション
ペーパー

福寿草 うららか

2014
March&April

No200



◎目次

200号記念特集 2~7

寿泉堂NEWS 8/9/10

- ・リウマチ膠原病内科診療再開のお知らせ
- ・寿泉堂忘年懇話会を開催しました
- ・平成25年度 患者満足度調査の結果を報告いたします
- ・高血圧予防も食事から〜研修会開催〜
- ・「クリスマス会」吹奏楽演奏会とキャンドルサービス
- ・院内感染対策委員会インフルエンザ研修会
- ・投書箱⑩〜患者さんからのご意見〜

ナースNEWS 11

- ・「私の看護観」発表会

施設NEWS 12/13

- ・寿泉堂香久山病院
- ・寿泉堂クリニック
- ・寿泉堂松南病院
- ・スプリングガーデンあさか

味なメニューで健やかに⑦ 14
教えて!お薬豆知識④ 14

寿泉堂総合病院オープンシステム
登録医師のご紹介⑥ 15

「うららか」200号発行に寄せて



公益財団法人 湯浅報恩会
理事長
湯浅 大郎

「福寿草うららか」は1990年の創刊から数えて、今号で第200号を迎えました。日頃よりご愛読を賜りご感想を寄せてくださる皆様に心から感謝申し上げるとともに、多忙な業務のかたわら地道に努力を続けてきた編集部に敬意を表します。実は、私が当法人に入職して主管したはじめての仕事はこの広報誌の創刊業務だったため、個人的にもたいへん感慨深いものがあります。

1990年4月の創刊号・巻頭コラムで理事長・湯浅孝子(当時)は、そのころソ連邦が掲げていた民主化政策のひとつ「グラスノスチ」(情報公開)に触れながら、「医療を担うという仕事の基本はひとりひとりからにじみでる暖かい人間性の連帯感にある。連帯は相手を認め合うことからの出発だと思う。人のこころの痛みをみんなで分かち合うためにも、『福寿草』が、ひらかれた情報共有の場として役立って欲しい」と広報誌への期待を綴っています。

当初は職員同士のコミュニケーションを促進することが主な役割であった「福寿草」は、その後、外部への情報発信に重点をシフトした「福寿草うららか」へと生まれ変わり、今では法人ホームページ、ツイッターなどとも連動した双方向性の広報誌を志向しています。

私の尊敬する福島県立医科大学理事長兼学長・菊地臣一先生は、私が当法人理事長に就任したとき、永年にわたるご自身の体験から「情報の共有化こそ全てに優先されるべきものである」という言葉を贈ってくださいました。この言葉は、震災と原発事故を経ていよいよその重みを増して響いてきます。

ひらかれた情報共有の場である「うららか」の、さらなる進化に期待して止みません。

福寿草うららか略年表

- 1990年 4月 「福寿草」創刊号 院内報として創刊
- 1994年 6月 50号 発行
- 1997年 10月 90号 「寿泉堂病院創立110周年」
- 1998年 8月 100号 発行
- 1999年 7月 111号 「福寿草うららか」と名称変更
サイズB5→A4 隔月発行へ
- 2005年 1月 143号 左開き、横書きに変更
- 2011年 3月 182号 「新病院移転・開院記事掲載」
- 2014年 3月 200号 発行



1990年（平成2年） 創刊号～

今から約24年前に広報誌「福寿草うららか」の前身となる院内報「福寿草」が発刊されました。職員同士の情報共有の場、研鑽を摘むことを目的に発行された「福寿草」。誌名の由来は、職員の応募（約40候補）により採用され、「福」には“幸福”と“福島”に通じるものがあり、「寿」には“寿泉堂”の寿が含まれていること、そして「福寿草」が咲かせる黄色い花には、毎年厳しい冬を越すごとにその株を増していくことに、法人発展の希望を託したとされています。

現在は隔月発行ですが、当時は毎月発行されていたため、編集委員の苦労も大変だったのではないのでしょうか。ちなみに当時の編集責任者は、湯浅太郎・現理事長が務めていました。

1990年4月 創刊号

福寿草発行!

院内報「福寿草」として創刊号が発行されました。表紙の題字「福寿草」は湯浅孝子会長が直筆したものです。「紙風船」と題した巻頭コラムは、数多くの方に執筆いただき、110号まで連載されました。



1990年8月 5号

創立記念日特集

寿泉堂病院の創立記念日(8月20日)に特集が組まれました。今をさかのぼること約127年前の1887年8月20日に湯浅医院を開業したところに始まります。昭和初期の病院や診療風景など当時の写真を交えて紹介しています。



1991年8月 17号

終戦記念日特集

8月15日終戦記念日にちなみ「戦火をくぐり抜けた寿泉堂」と題し、職員寄稿による終戦前後の病院の様子が描かれました。職員が防火服やガスマスクなどを装着している写真は、当時の緊迫感がひしひしと伝わってきます。



1992年10月 31号

厚生大臣表彰受賞

1964年2月20日に救急病院の指定に関する省令が告示され、市内の救急告示病院が郡山救急病院協議会を結成し、救急担当日の輪番制を確立しました。その当時、当院は協議会の運営や幹事役を務め、永年にわたり郡山市内外の救急医療に貢献したことが評価され、1992年に救急医療功労者厚生大臣表彰の受賞へつながりました。



1994年(平成6年) 50号～

1994年6月、創刊号から数えて5年目に50号を達成しました。計86回掲載した「Jネットワーク」という連載記事では、院内のスタッフが仕事のことや趣味などを自由に記載し、職員から職員へ次回の執筆者を指名するコーナーが話題となり、職員同士のコミュニケーションツールとして利用されました。また、発行を重ねるごとに記事の内容も変化し、研修会情報や医師紹介、施設案内などの情報を少しずつ取り扱い、徐々に院外へと視野を広げ始めました。

当時本誌で多く取り扱われていた“看護婦”と言う表現は、まさに白を基調としたユニフォームにナースキャップ・ナースシューズ、看護婦と言えば女性の仕事という印象が強くありましたが、現在は多くの男性看護師が活躍している職場であり、“看護婦”など当時のことばひとつひとつに時代の流れや背景を感じることができることも広報誌の魅力と言えるのではないのでしょうか。

1995年2月・3月 59・60号

被災地救援活動

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の被災者のために、職員から約28万円と当法人から100万円の義援金を被災地へ送りました。また被災地での救援活動に看護師が参加し、震災直後の現状や看護活動を報告しました。



1997年1月 81号

郡山市文化功労章授賞

1996年11月1日、湯浅孝子会長が永年にわたり教育委員として、市の教育行政・教育文化の向上に貢献され、郡山市文化功労章を受賞しました。



「Jネットワーク」

1997年9月 90号

創立110周年記念講演会

寿泉堂病院は1997年8月20日で創立110周年を迎えました。作家の渡辺淳一先生(代表作は「光と影」、「失樂園」など)をお迎えした記念講演会を開催し、約900名の来場者がありました。



1998年5月 98号

慈母のごとき良医

白岩康夫先生(寿泉堂クリニック名誉院長)がベトナム厚生大臣より「慈母のごとき良医」として人民の健康保全勲章を受章しました。先生は1990年7月に「医療で結ぶふくしまとベトナムの会」を結成し、ハノイ市友好病院に対して透析医療援助を開始しました。



1998年(平成10年) 100号～

1990年代後半、一般企業と同様に医療機関でもホームページや広報誌が整備され、本誌も変革の時期を迎えました。1999年7月発行の111号から広報誌「福寿草うららか」へと名称が変更になり、当初職員向けの院内報として発行されていましたが、情報公開という時代の流れとともに、患者さんや地域の方々向けの広報誌として新たに生まれ変わりました。

用紙サイズはB5サイズから一般的なA4サイズとなり、記事の充実を図るため、隔月発行となりました。内容は患者さんが興味を持てるように、医師が病気やその症状・治療法などを解説する「健康大学」記事をメインに、読者にわかりやすく・見やすいようにと、寿泉堂・看護部・関連施設の記事をページごとに分類しました。

1999年7月 111号

福寿草「うららか」に名称変更

湯浅孝子会長による広報誌「うららか」の発行よせて。



2000年1月 114号

オープンシステム開始

1999年10月に寿泉堂総合病院は開放型病院の承認を受けました。近くの医院・クリニックの先生方と診療連携を推進し、当院の設備などを共同利用して患者さんを地域一帯となって診察するシステムです。広報誌も開放型の認定に伴い、各医院の先生方を誌面上で紹介しています。現在も連載している「登録医師のご紹介」の第1回目は桜井診療所と東部整形外科の2施設を紹介しました。



2000年3月 115号

スプリングガーデンあさか完成

1999年12月に特別養護老人ホーム「スプリングガーデンあさか」が完成しました。翌年4月の介護保険制度のスタートに先立ち、写真付きで施設を紹介しました。



2003年7月 135号

夜空の神秘

寿泉堂総合病院が現在地に移転する前の病院では、屋上が入院患者さんたちに開放されており、憩いの場として提供されていました。2003年の5月、入院患者さん・スタッフ約50名が参加した「屋上ガーデン月面観望」では、天体望遠鏡などで夜空を見上げ、普段とは違う安らぎの時間を過ごしました。



2004年3月 139号

リハビリテーションセンター開設

2004年4月、寿泉堂香久山病院の新館が完成し、リハビリテーションセンターを開設しました。

青春スケッチ画展開幕

2003年12月、故湯浅大太郎先生の「青春スケッチ画展」が開催されました。大太郎先生は当法人の理事長を務め、美術・文化活動に造詣が深く、郡山文化協会を設立するなど、郡山市の各種芸術・文化活動に活躍されました。



「新館完成」

「青春スケッチ画展」

2006年(平成18年) 150号～

現在は写真・イラストを多用し、広報誌の顔とも言える表紙には、花・歴史建築物・絵画・銅像など年度ごとにテーマを決めて掲載しています。臨時号である151号「外科新体制特集」、180号からは病院の移転・開院に向けた「新病院開院特集」などを掲載しました。また、コンピュータによる情報システムの利用が広く市民生活や企業活動に浸透してきたのを踏まえて、当院のホームページと連動した記事を掲載するなど、時代のニーズに合わせた広報誌作りを推進しています。「広報誌祭典2009」では本誌が優秀作品に選ばれ、広報誌が地域の方々に着々と浸透し、時代の流れとともに成長を遂げました。

2009年7月 172号

湯浅伸郎前理事長逝去

2009年6月30日、湯浅伸郎前理事長が逝去され、職員をはじめ、患者さんなど多くの方が哀しみに包まれました。1988年に当院に着任してから約21年間、医師として、また理事長として職員を牽引してきました。



2009年9月 173号

第6代理事長就任挨拶

2009年7月28日、湯浅大郎第6代理事長が就任しました。1887年から掲げてきた「患者さん第一」の理念を堅持し、前理事長の遺志の継承、企業体としての存続と地域貢献を今後の基本方針として掲げた、理事長就任挨拶がありました。



2011年3月 182号

新病院内覧会・移転特集

2011年1月22日新築・移転した寿泉堂総合病院の内覧会を開催しました。2月1日に入院診療が開始され、雪が降る悪天候の中、旧病院から新病院へ患者さんの移送作業を無事完了し、4日からの外来診療開始を迎えました。



2011年11月 186号

新・寿泉堂総合病院 開院記念講演会

2011年8月27日ホテルハマツにて寿泉堂総合病院開院記念講演会を開催しました。1996年に日本で初めてパチスタ手術を施行した心臓血管外科医 須磨久善先生をお招きして、「心臓からのメッセージ」と題した講演を開催し、約800人の来場がありました。



2014年3月 200号

福寿草「うららか」200号発行 200回発行を記念して特集ページを組みました。



※「うららか」のバックナンバー(約5年分)は、湯浅報恩会のホームページ(<http://www.jusendo.or.jp>)でご覧になれます。

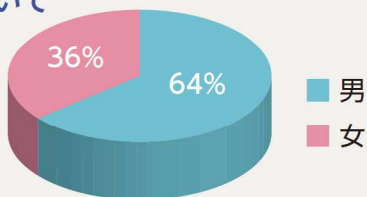
アンケート調査による患者さんの声

寿泉堂総合病院のホームページでは「広報誌アンケート調査」を実施しています。現在までにご回答いただいた内容を一部紹介いたします。※今回はホームページでの回答のみとなります。

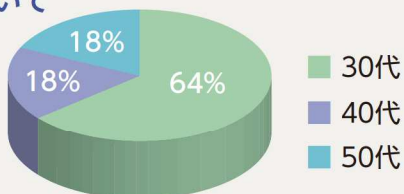
読者層

男性の読者層が多く、年代も30歳代が多いことがわかりました。また、そのほとんどの方が郡山在住の読者です。

性別について



年代について



「福寿草うららか」をどの程度お読みに なりますか。また、どのように感じますか。

「すべての記事をよく読む」「関心のあるものだけを読む」との回答が多数を占め、広報誌を手取るだけでなく、中身まで目を通していただいていることがわかりました。また、「読みやすい」「どちらかという読みやすい」との回答が多数ありました。

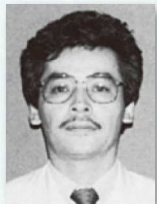
特に好きな記事はありますか。

1位「医師紹介」、2位「寿泉堂NEWS」、3位「部署紹介」という結果になりました。実際に患者さんと対面する医師や医療スタッフの情報は、一番知りたい情報なのかもしれません。部署紹介の記事は、今後も継続していく予定です。

今後、取り上げてほしい記事や特集、 要望があれば記入してください。

- 手術後の予防等を取り上げてほしい。
- 医師と患者との交流等を企画してほしい。
- 病気の治療法などを掲載してほしい。

あの頃は若かった?ドクター紹介



呼吸器内科
前田 真作
1991年(23年前)
No.9
年頭所感



内科
鴻野 浩
1990年(24年前)
No.3
医学講座第三回



消化器内科
斉藤 伸一
1995年(19年前)
No.62
着任医師紹介



泌尿器科
熊川 健二郎
1991年(23年前)
No.13
うちのお医者さん



産婦人科
鈴木 博志
1996年(18年前)
No.71
着任医師紹介



泌尿器科
千葉 茂寿
1996年(18年前)
No.74
着任医師紹介



読者の皆さまへ

常日頃より皆さまの広報誌に対するご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

これからも地域と寿泉堂を結ぶコミュニケーションペーパーとして、「福寿草うららか」は皆さまに親しまれるような広報誌を目指してまいります。



寿泉堂NEWS

リウマチ膠原病内科診療再開のお知らせ

平成26年4月より下記医師が着任し、診療を再開いたします。

○リウマチ膠原病内科医師

遠藤 平仁(えんどう ひらひと)部長

(現 東邦大学医学部 膠原病学分野 准教授)

日本内科学会指導医、日本リウマチ学会指導医、日本アレルギー学会専門医 等

寿泉堂忘年懇話会を開催しました

平成25年12月10日(火)郡山ビューホテルアネックスにおいて、寿泉堂忘年懇話会が開催されました。

本懇話会は、当地域の医療に従事する方々をお招きして、この1年間に当院が経験した症例や研究の成果等を発表することにより、地域における医療連携の強化を図ることを目的として開催しているものです。



〈会場の様子〉



〈座長：岡本 正俊医師〉

今回は、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)をテーマに、当院職員5名が講演いたしました。

①「知ってみようロコモティブシンドローム」



①整形外科 小山 光久医師

②「高齢者の薬物療法の落とし穴
～相互作用・副作用の観点から～」



②薬剤科 栗山 愛さん

③「視力低下が招くロコモティブシンドローム」



③眼科 笠井 暁仁医師

④「サルコペニアと栄養との関わり
～ロコモティブシンドロームを予防しよう～」



④栄養管理科 有松 由香理さん

⑤「転倒のリスクである筋力低下の
セルフチェックで達者な生活を」



⑤リハビリテーション技術科 高橋 健輔さん

今回、多くの方々にお集まりいただきましたこと、さらには講演が盛大に開催できましたこと心より御礼申し上げます。

今後も地域医療に従事する方々との連携を深め、より良い医療をご提供できるよう努めてまいります。

(医局秘書 渡邊 美香)

寿泉堂NEWS

平成25年度 患者満足度調査の結果を報告いたします

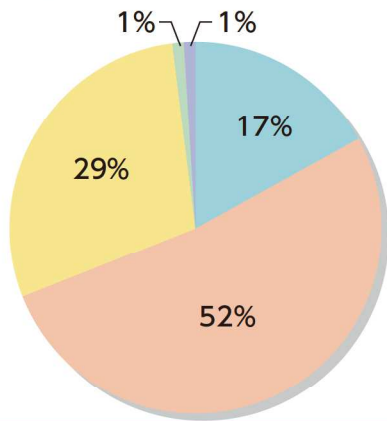
当院では、平成25年8月に満足度調査を実施いたしました。ご協力を頂いた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。ここに、調査結果の一部をご報告させていただきます。

全体としてこの病院に満足している

■非常に満足 ■満足 ■普通 ■不満 ■非常に不満 (%)

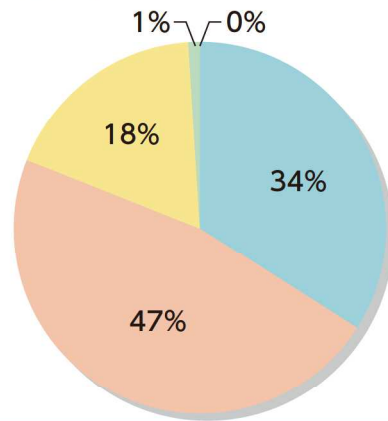
外 来

調査期間：平成25年8月22日(木)～23日(金)2日間
回 答 数：437件



入 院

調査期間：平成25年8月5日(月)～31日(土)4週間
回 答 数：240件



今回の患者満足度調査の結果を院内の各部門で共有し、今後とも病院の理念である『患者さん第一』をモットーとした病院づくりを実践してまいります。頂きました調査結果を基になおいっそうサービス向上に取り組むとともに、患者さんに満足していただけるよう努力してまいります。

今後とも、お気づきの点がありましたら、(サービス向上への)アドバイスをいただければ幸いです。

(総務課)

高血圧予防も食事から～研修会開催～

1月29日(水)5階大会議室において、多数の医療関係者をお招きして地域医療支援病院研修会を開催しました。

この研修会は総合病院が地域医療支援病院として今まで以上に地域の医療機関との連携を深め、医療の質の向上を目指すことを目的にしています。

今回は管理栄養士 大槻有希さんによる「高血圧予防も食事から」を題に講演していただきました。

高血圧症の自覚症状は余りありませんが、動脈硬化・脳卒中・腎不全などの発症リスクを高める病気です。その高血圧と塩分の関係や効果的な減塩など、そして管理栄養士の立場から無理せずバランスよく、かつ美味しく調理できるコツについてお話いただきました。

当院では定期的に医療関係者向けの研修会を実施しております。(機会がありましたら)ぜひご参加ください。

(渉外広報室 門馬 裕也)



〈研修会の様子〉

「クリスマス会」— 吹奏楽演奏会とキャンドルサービス —

昨年12月11日(水)、クリスマス会を開催しました。入院患者さんが約90名参加し、クリスマスソングの生演奏などで楽しいひとときを過ごしました。郡山東高校吹奏楽部員約30名が「ジングル・ベル」「あまちゃんのテーマ」「クリスマス・ハッピーメドレー」など軽快な演奏を次々披露し、アンコール曲が出るなどとても盛況でした。またキャンドルサービスも行われ、各階病棟の医師や看護師がサンタクロース、トナカイに扮し、各病室を回って入院患者さん一人ひとりに「メリークリスマス」と声をかけながら握手をし、クリスマスプレゼントを手渡しました。また一緒に回ったスタッフと撮影した記念写真を翌日お渡しし、とても喜んでいただきました。

(イベント委員 有賀 智香)



〈生演奏の様子(左上:寿泉堂サンタ・トナカイ)〉

院内感染対策委員会インフルエンザ研修会

厚生労働省は平成25年12月27日、今冬のインフルエンザが流行期に入ったと発表しました。

院内感染対策委員会では流行に先駆け研修会を行い、370名が参加しました。講師に(株)ハクゾウメディカルの林大貴氏をお迎えし「インフルエンザ対策」について講演をいただきました。

手洗いは風邪やインフルエンザに限らず、多くの感染症に効果があります。マスクをしなかった場合に比べ、マスクを着用すると発症率が1/5に低下し、感染拡大を押さえることが出来ます。マスクを着用することにより、喉を乾燥から守る事が出来ると同時にウイルスのついた手で鼻や口を触る機会を減らすこともできます。

(院内感染対策委員会 医療安全室(感染担当) 高橋 裕子)



〈研修会の様子〉

投書箱⑩～患者さんからのご意見～

*当院に設置してあります投書箱より、皆様からお寄せ頂きましたご意見を一部紹介いたします。

平成26年1月 投書 入院患者さんより
今回手術でお世話になりました。

主治医をはじめ、病室でも不安な私にいつも優しく接してくれた看護師さんのおかげで安心して入院生活を送ることができました。本当に感謝しています。看護師さんの笑顔を忘れずに。ありがとうございます。

この度は感謝のお言葉を頂きありがとうございます。

その後体調はいかがでしょう。

手術への不安などいろいろあったことと思います。少しでも寄り添えた事と、このように心温まるお言葉をいただいた事をはげみとして、スタッフ一同よりいっそう頑張っていきたいと思っております。

今後ともお気づきの事などございましたらお聞かせ下さいます様お願いいたします。

病棟科長



ナースNEWS

『私の看護観』発表会

看護職経験5年目による「私の看護観」発表会を行いました。看護観とは、“その人が看護についてどう考えているか”であり、自分の看護観をもつことはとても大切なことだと思います。そして、看護観は経験の長短や内容などにより変化します。

計12名の看護観を聞き、感動するとともに個人の成長を感じました。また、今までの自己の看護観を振り返ることができ、心温まる時間となりました。

(教育担当 井手田 理恵)



《発表者からの一言》



鈴木 恵里さん(寿泉堂総合病院6階病棟)

今回、自分の看護観についてじっくり考えることができ、これまでに悩んだ事も含めて自分の看護を振り返る良い機会となりました。また、他の発表を聞いて、自分が忘れかけていた大切な事を再確認できたので、今後、患者さんと良い関係を築いていくために活かしていきたいです。

吉田 里紗さん(寿泉堂総合病院11階病棟)

看護観の発表を終えて、自分の看護観について振り返るだけではなく、同期たちの考えも知ることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。採用5年目の看護師には、「専門職として人間理解を深め看護の質を高める」といったことが求められています。今後も患者さんの生活背景を踏まえて、より良い看護が提供できるよう日々精進し続けたいと思います。



我妻 聡美さん(寿泉堂総合病院8階病棟)

五年前に入社した同期が、それぞれの強い看護観を抱きながら様々な経験を積み重ねているのだと感じました。これからも、自分の看護観を念頭に置き、自分らしい看護を患者さんに提供していきたいと思いました。

施設NEWS

寿泉堂香久山病院

クリスマス会・キャンドルサービス

2013.12.12

12月12日にリハビリテーションセンターにおいて恒例の『クリスマス会』を開催しました。

今年は、職員や郡山女子大生による演奏や歌唱・じゃんけん大会・新入職員による踊り・時代劇が披露されました。また、最後に当院職員で構成する下町座による“水戸黄門”が演じられ、会場から笑いが沸き起こるなど終始和やかな雰囲気の中で執り行われました。

夕方からは全病棟で『キャンドルサービス』を行いました。郡山東高校の生徒さんや郡山女子大生の皆さんと当院スタッフがサンタクロースやトナカイに扮し、入院患者さん一人ひとりにささやかではありますがクリスマスプレゼントを手渡しました。



ふれあいコンサート

2014.1.20



民謡歌手
涌井 晴美さん



今回の「ふれあいコンサート」は民謡歌手の涌井晴美さんによる民謡コンサートを開催しました。

「花笠音頭」「斉太郎節」「会津磐梯山」「さんさ時雨」といった東北にちなんだ民謡や馴染みのある「ソーラン節」など計9曲が披露されました。

参加した患者さんは笑顔を浮かべながら一緒に歌い、手拍子をしたり、みんなで楽しく盛り上がりました。

インフルエンザ・ノロウイルス 研修会

2013.12.6~20



講師
丸石製薬株式会社
平山 氏



丸石製薬株式会社の平山氏を講師に招き、12月に計3回、全職員を対象に「インフルエンザ」「ノロウイルス」の感染対策について研修会を開催しました。

これから感染症の流行時期を迎えるにあたり、「インフルエンザ」の感染対策はワクチン接種やうがい・手洗い・マスク着用をすること、また「ノロウイルス」の感染対策は食中毒の予防や感染発生時について効果的な手洗い・消毒・嘔吐物の処理の仕方を再確認することができました。

寿泉堂クリニック

特定健診・特定保健指導を受けましょう

みなさんは1年に1回、健康診断を受けていますか。自分の身体に起こっている変化を見逃さないために定期的な健康診断はとても重要です。特にメタボリックシンドロームは日々の悪い生活習慣の積み重ねによって引き起こされ、糖尿病や脂質異常症などさまざまな生活習慣病、心疾患や脳血管疾患の原因になります。メタボリックシンドロームや生活習慣病の早期発見のために特定健診や健康診断を受けることをお勧めします。

メタボリックシンドロームの改善には生活習慣の改善が重要です。特定健診の結果で特定保健指導の該当になった方には、保健師がその方の生活スタイルに合わせ食事や身体活動等の生活習慣に関して具体的にどのような事に取り組みばよいかをアドバイスしています。

まず特定健診を受診してみましょう。その結果、該当になった場合は特定保健指導を受けて生活習慣の改善に取り組んでみましょう。（健診センター 保健師 水野 真由美）



寿泉堂松南病院

初詣に行ってきました

各病棟単位で須賀川市の神炊館神社へ初詣に行ってきました。

第2病棟が初詣に行った日はちょうど寒気団が入り込んで寒かったのですが、幸い積雪が無かったので参道は歩きやすく各々がお参りした後、神社内を散策しました。

大きな鳥居や苔むした石灯籠を見ると歴史の重みを感じました。また、氷が張った池を覗くと赤い金魚が氷を通してゆらゆらと泳いでいるのがわかり、生命の力強さも感じました。

帰院途中にショッピングモールに立ち寄り、ハンバーガーやドーナツ、アイスクリームなど思い思いに注文し、みんなで楽しく会食して帰ってきました。

「すがすがしい気分になった」「今年は良いことがありそうな気がする」などの意見が参加者から聞かれました。

（寿泉堂松南病院 リハビリテーション室 山本 剛三）



〈第2病棟、初詣の様子〉

スプリングガーデンあさか

デイサービスセンターで新年会

1月6日(月)から1月11日(土)まで、スプリングガーデンあさかデイサービスセンターで新年会を開きました。

今年も、ボランティアの皆様にご協力いただき、新しい年の始まりを皆さんと一緒に祝いしました。今年は、フラダンススクールの皆様にもお越しいただきましたが、初めて目にするフラダンスに、「とてもきれいだった」「若い頃に戻って自分も挑戦してみたい」など、嬉しい感想がたくさん聞かれました。踊りはもちろんのこと、目を引く鮮やかな衣装も素敵でした。

その他の皆様の出し物も、懐かしい歌を一緒に口ずさむ、あるいは踊りに合わせて身体を動かす、拍手をする…楽しみ方は人それぞれですが、心から喜んで下っていました。

普段外出の機会が少なくなっているご利用者の皆さんにとって、ボランティアの皆様との交流は、とても貴重な時間になっています。今年も皆様の訪問を心待ちにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

（デイサービスセンター 鈴木 りお）



〈フラダンススクールの皆さん〉

鉄分たっぷりでお貧血予防 簡単あさりごはん

今回は3月から5月が旬のあさりを使ったご飯をご紹介します。

あさりにはコハク酸という旨味成分が含まれており、味わいは貝の王様と思われるほど!また低カロリーながら、鉄、ビタミンB12、亜鉛も豊富に含まれており、貧血予防にはピッタリの食材です。

材料・分量 (6人分)

- お米……………3合
- あさり水煮缶……………180g
- 油揚げ……………1枚
- 生姜……………20g
- あさり缶汁
- ☆日本酒……………100cc
- ☆白だし……………50cc
- ☆みりん……………50cc
- ☆薄口しょうゆ……………50cc
- 万能葱……………適量

栄養量(1人分)

熱量……………	295kcal
たんぱく質……………	11.7g
脂質……………	2.1g
塩分量……………	1.0g

作り方

- ①油ぬきした油揚げ、生姜を千切りにする。
- ②洗米したお米、あさり水煮の煮汁、☆印の調味料を炊飯器に入れる。
- ③炊飯の目盛りに合わせ水分調節する。
- ④①を加え、炊飯する。
- ⑤炊き上がったら、あさりを入れて、5分程蒸らし、万能葱をお好みで添える。

添えるものを、好みに合わせて三つ葉や青じそでも美味しく召し上がれますよ♪



教えて! お薬豆知識 54

花粉症のお薬について

花粉症のお薬は、花粉が飛散する前から服用することで症状を和らげることができます。

花粉症は花粉の飛散量によって症状が変わり、雨が降ると花粉は飛ばないためその日の症状は楽になりますが、そこで薬の服用を止めてしまうと次の大量飛散時に一気に症状が悪化することがあります。もし症状が軽くなっても継続してお薬を服用してください。

花粉症のお薬と市販の風邪薬とでは同じような成分が含まれていることがあるので、一緒に服用すると副作用を生じる可能性があります。服用する場合は医師や薬剤師に相談してください。またお薬には使用期限がありますので、昨年やそれ以前に処方されたものは服用せず、新しく処方してもらいましょう。

お薬を上手に服用し、花粉の時期を快適に過ごしましょう。
(薬剤科 橋本 千賀子・鈴木 一真)



寿泉堂総合病院オープンシステム 登録医師のご紹介 86

寿泉堂総合病院の
オープンシステムとは

寿泉堂総合病院では、患者の皆様により高度で質の高い医療を受けていただくため、各専門の開業医の先生方と連携を結んで幅広い医療サービスのネットワークを展開しています。このページでは、寿泉堂総合病院のオープンシステムに登録されている医療機関の概要を紹介しています。

医療法人主恩会 東部整形外科

◎診療科：整形外科・リハビリテーション科



〈張簡 俊義先生とスタッフのみなさん〉

ちょう かん とし よし
張簡 俊義 先生

「明るく、元気よく、楽しく」のモットーで地域にたよられる整形外科を頑張りつづけます。

- 【休 診 日】 木曜日、日曜日、祝祭日
- 【往診・訪問診療】 行っておりません
- 【病 床 数】 無床

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前/ 9:00~12:00	○	○	○	休	○	9:00	休
午後/14:30~18:30	○	○	○	休	○	16:00	休

※=但し、その週に祝祭日がある場合は木曜日診療致します



【所在地】
郡山市字北畑
15番地

【電話番号】
024-956-1400

【FAX番号】
024-956-1400



読者の皆様へ

薬にたより過ぎず、15種類のリハビリ機器で、痛みの軽減を致します。詳しくはホームページ「東部整形外科」で検索をどうぞ。

医療法人 あべウイメンズクリニック

◎診療科：婦人科一般・不妊治療・妊婦健診・
婦人科がん検診・腫瘍外来・更年期外来・女性内科



〈阿部 州雄先生とスタッフのみなさん〉

あ べ くに お
阿部 州雄 先生

女性だけを対象とした診療科であることを更に意識し、一人でも多くの皆様の心に希望・喜び・安らぎが芽生えるお手伝いをしたいと思います。

- 【休 診 日】 木曜日午後、日曜日、祝祭日
- 【往診・訪問診療】 行っておりません
- 【病 床 数】 無床

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前/ 9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	休
午後/14:30~18:30	○	○	○	休	○	○	休

※=13:30~15:30



【所在地】
郡山市富久山町久保田
字伊賀河原6-1

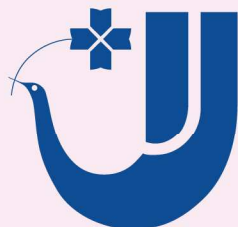
【電話番号】
024-923-4188

【FAX番号】
024-924-4188



読者の皆様へ

皆様が、どんな小さなことでも気軽に相談ができ、信頼、安心して診療や治療が受けられるクリニックを目指しております。



公益財団法人 湯浅報恩会

理事長 湯浅 大郎

- ホームページアドレス <http://www.jusendo.or.jp>
- E-mailアドレス mail@jusendo.or.jp

地域医療支援病院

寿泉堂総合病院

院長 金澤 正晴

〒963-8585 福島県郡山市駅前1丁目1番17号
TEL.024-932-6363 (代) FAX.024-939-3303

寿泉堂香久山 居宅介護支援事業所

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号
TEL.024-932-6501 FAX.024-932-6507

寿泉堂香久山病院

院長 春山 和見

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号
TEL.024-932-6368 (代) FAX.024-922-7178

寿泉堂香久山 通所リハビリテーション事業所

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号
TEL.024-932-6368 FAX.024-922-7178

寿泉堂クリニック

院長 熊川 健二郎

〒963-8002 福島県郡山市駅前1丁目5番7号
TEL.024-939-4616 (代) FAX.024-939-2351

いずみ訪問看護ステーション

〒963-8833 福島県郡山市香久池1丁目18番11号
TEL.024-921-5246 FAX.024-921-5246

社会福祉法人 いずみ福祉会
介護老人福祉施設

スプリングガーデンあさか

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字日光池西10番1号
TEL.024-937-3737 FAX.024-946-7611

医療法人 為進会

寿泉堂松南病院

〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田100番
TEL.0248-73-4181 (代) FAX.0248-72-8133

認知症高齢者グループホーム

グループホームすぷりんぐ

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字関谷田37番
TEL.024-937-3881 FAX.024-947-3788

精神障がい者グループホーム

パイン・フォレスト

〒962-0403 福島県須賀川市滑川字池田91番
TEL.0248-73-4182 FAX.0248-63-1185

編集後記

今回は「うららか」の発行200回記念号として、「福寿草うららか」創刊からの主な記事等を掲載いたしました。「うららか」の歴史ではありますが、寿泉堂病院の歩んできた歴史でもあり、病院が地域に果たしてきた役割の重さを改めて感じております。アンケートでは、30代の比較的若い方々を含め幅広い層に親しまれていることが分かりました。これからも「うららか」は病院とともに弛まぬ歩みを進めていきたいと思っております。

編集委員長

外 来 診 療 の ご 案 内

平成26年1月1日現在



福島県郡山市駅前1丁目1-17
(024)932-6363(代表)

【受付時間】 平日7:30~15:30 土曜日7:30~11:00
(午前中の受付11:00まで)
【診療時間】 平日9:00~17:00 土曜日9:00~13:00

診療科			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	呼吸器内科	第1診	前田真作	増戸康文	前田真作	吾妻啓佑	前田真作	
	循環器内科	第2診	出町 順	鈴木智人	出町 順	水上浩行	鈴木智人	
	糖尿病内科	第3診	鴻野 浩	担当医(予約制)	鴻野 浩		鴻野 浩	
	総合内科	第4診		岡本正俊	金澤正晴	佐々木信博 (腎臓内科)	担当医	岡本正俊
	消化器内科	第5診	解良 隼	本田悌一郎	解良 隼	本田悌一郎	齋藤伸一	
	内 科	第4診 第5診		岡本正俊 (予約制)		佐々木信博	担当医 (15時~16時)	
神 経 内 科			午前			福島医大		
心療内科・精神科			午前	今泉修一	担当医	河野創一	鈴木志郎	橘 隆一
小 児 科	午前		福島医大	佐藤知子	福島医大	酒井信子	佐藤知子	福島医大
	午後		健診-予防接種 (14時~15時/予約制)	1ヶ月健診 (13時30分~/予約制)	健診-予防接種 (14時~15時/予約制)	健診-予防接種 (14時~15時/予約制)	1ヶ月健診 (13時30分~/予約制)	
			慢性疾患 (15時~/予約制)	新生児フォローアップ外来 (14時30分~/予約制)	佐藤知子 (循環器外来/完全予約制)	慢性疾患 (15時~/予約制)	新生児フォローアップ外来 (14時30分~/予約制)	
外 科	第1診	午前	浦住幸治郎	宮本康太郎	中山浩一	浦住幸治郎	中山浩一	担当医(交替制)
	第2診	午後					岸本昌浩 (4週/予約制)	
	第1診	午後	中山浩一 (乳腺外来)	宮本康太郎 (ストーマ外来)	中山浩一	浦住幸治郎 (甲狀腺外来)	青澤 舞 (肛門外来)	
	第2診					岸本昌浩 (4週/予約制)		
脳 神 経 外 科			午前		村上友太	紺野 豊	紺野 豊	佐藤正憲
整 形 外 科	午前		菅野裕雅	小山光久	菅野裕雅	利木成広	小山光久	利木成広 (毎週)
	午後		関口美穂		大歳憲一		荒 文博 (3週/予約制)	
形 成 外 科			午前	木村眞之介	阪野一世		木村眞之介	阪野一世
			午後			木村眞之介 (シミ脱毛外来/完全予約制)		
心 臓 血 管 外 科			午後	佐戸川弘之 (2-4週)				
産 婦 人 科	婦人科	午前	鈴木博志	鈴木和夫	大和田真人	鈴木和夫	鈴木博志	田中昌代 (1-3-5週)
	産科		妊 婦 健 診 (担当医師/助産師) 予約制					大和田真人 (2-4週)
	産婦人科	午後	助産師 (産褥健診/予約制)	福島医大 (不好外来/1-3-5週)	助産師 (産褥健診/予約制)	吾妻達郎 (更年期外来)	助産師 (産褥健診/予約制)	
泌 尿 器 科	第1診	午前	千葉茂寿	白岩康夫	千葉茂寿	千葉茂寿	熊川健二郎	担当医
	第2診		百瀬昭志		熊川健二郎	中島 拓		熊川健二郎 (CAPOD外来/1-3-5週)
眼 科	第1診	午前	神田尚孝	神田尚孝	神田尚孝	神田尚孝	神田尚孝	担当医
	第2診		笠井暁仁	笠井暁仁	笠井暁仁	笠井暁仁 (1-3週)	笠井暁仁	福島医大 (2-3週)
耳 鼻 咽 喉 科	第1診	午前	担当医	担当医	山辺 習	担当医	山辺 習	福島医大
	第2診				佐藤廣仁		佐藤廣仁	担当医
皮 膚 科			午前	山本俊幸 (毎月最後の週)			春山秀城	
				松村宜子 (毎月最後の週は休診)				
歯 科 口 腔 外 科	午前		三科正見	三科正見	三科正見	三科正見	三科正見	三科正見
			小坂橋勉	小坂橋勉	小坂橋勉	小坂橋勉	小坂橋勉	小坂橋勉
			秋本哲男	秋本哲男	秋本哲男	秋本哲男	秋本哲男	秋本哲男

*上記の診療案内は変更の場合がありますのでご了承下さい。
*再来診療に関しては、一部の診療科を除き予約診療を受付けておりますので、受診時にご相談下さい。